



さと やすらぎの郷



選手宣誓 (やすらぎの郷 運動会より)



Greetings from the Medical Affairs Department Chief

医務課長挨拶

中隈医務課長

晩夏の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素はやすらぎの郷への格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

私は、令和6年4月1日付けで福岡赤十字病院から転勤して参りました医務課長の中隈紀子と申します。福岡赤十字病院では内科・外科・整形外科・脳外科・コロナ病棟等と多岐にわたる知識と経験を得ることができました。この経験を活かし、入所者様及びご家族の皆様が安心して日常生活をお過ごし頂けるように、

健康面の管理の立場から尽力致しますのでご指導のほどよろしくお願い致します。今年の6月からは協力医療機関としてうへの病院様より24時間体制で対応をして頂くこととなりました。うへの病院様との連携を充実し、介護士・リハビリ・管理栄養士とともに入所者様の健康維持を図っていく所存です。

新型コロナウイルス感染症が5類となったとは言え、まだまだ予断を許さない状況が続きますが、入所者様の笑顔と暖かな微笑ましい日常が継続していけるように努めて参りますので、よろしくお願い致します。10月の家族懇談会で皆様にお会いできることを楽しみにしております。

特養創作活動

Creative Activities

特養では、水曜日の午後(月2~3回)に創作活動を行っています。作業療法士1名、理学療法士1名の2人の職員のささやかな活動ですが、4月は桜、5月はこいのぼり、6月はあじさい、7月はひまわりと季節の貼り絵を行っています。絵は苦手と言いつつも、始まると熱心に行う方が多いです。毎回、花の切り紙や下絵を用意するのに時間がかかりますが、ご利用者の皆さんが喜んで作業を行っている姿を見ると、準備に時間をかけて作ってよかったと感じています。なお、作業の前に散歩をして、体を少し動かしてから作業に取り掛かっていただいています。そのほうが、散歩等をしないときよりも手の動きも良い印象があります。今後も皆さんに季節感を感じていただいてもらえるよう継続して行う予定です。

(作業療法士 大田慎二)



あじさい



ひまわり



鯉のぼり



さくら



Respectively

それぞれの物語

Story
家族インタビュー

やすらぎの郷は人の想いを支えます



東棟 石川シゲ子様

石川シゲ子様の息子さんと娘さんにお話を伺いました



シゲ子さんの生い立ち

壱岐市出身で学生時代まで過ごされ、夫とはお見合いで結婚。それを機に新宮町へ引っ越し、義両親の手伝いで農業(みかん畑)に従事されていたそうです(息子さん曰く、自分の事はあまり語らなかったそうでおそらくそんな感じだったとの事)義母が亡く



なりしばらくして義父が農業をやめた為、その後は古賀へ引っ越し山崎パンの工場パートタイマーとして長く勤めていたとの事。

母親としてのシゲ子さん

性格はとても明るく気が強い所があり、あまり細かい事を気にしない為、子どもにもあれこれ言わなかった…とは息子さんの話。息子さんは高校に入ってから寮生活だった為、年の離れた娘さんは一人っ子のような感じで育てられ、シゲ子さんとは口喧嘩が日常茶飯事だったとの事。中学生の頃は時に殴り合いのような激しいケンカになる事もあったそうです。また、夫も気が強く夫婦喧嘩はしょっちゅうで茶碗が飛び交うこともあったとか。同居していた義父がよく止めに入っていたらしいです。

反面、とても面倒見が良い所があり、10年間同居していた義父は歯がなくて物が食べづらかった為、毎日食べやすい様に細かく刻んで出していたとの事。どんなに忙しくても義父のお世話は欠かさず、すべて終えてからバタバタと仕事へ出ていたそうです。その義父はシゲ子さんが49歳の時に亡くなれましたが、最期の1年間は寝たきり状態で、今でいう在宅介護を一生懸命され、最後は自宅で見送ったとの事。

そんなシゲ子さんをずっと見ていた息子さんは、

負けず嫌いで我慢強く、頑張り屋さんだった母親に頭が下がる思いだったと話してくださいました。

やすらぎの郷とのきっかけ

もともとは息子さん夫婦と同居していたが上手くいかずに別居。しばらく夫婦で生活した後、今度は娘さんの結婚、家建てる事を機に宇美町へ引っ越し同居。この頃既に右足が少し不自由だったそうで(きっかけは古賀時代のバイク事故で右膝骨折、靱帯切断。その後遺症)外出に不便があったとの事。そんな折、たまたま宇美町の役場の方から新規オープンしたばかりの当施設の話聞き、同世代の方もたくさんいる老人クラブ的な感じで楽しそうかなと思い、やすらぎの郷デイサービスに来てみたそうです。当初は「つまらなかったら行かんどけばよか」と軽い気持ちだったらしいですが…そのまま実に30年近いお付き合いになる事に。人生は何がきっかけになるか分かりませんね。

おしゃべり大好き、カラオケ大好きなシゲ子さんはデイサービスが楽しかったようでとても居心地が良かった様子。思い返せばやすらぎの郷での運動会では毎年のように元気よく選手宣誓をして頂いておりました。



在宅から特養入所へ

もともとバイク事故の後遺症で右足が不自由だったところに、ある時知り合いの車に同乗中事故に遭い同じく右足を骨折。さらに他の事故や自身の転倒事故による骨折等があり長期入院が度々続いたそうです。娘さんはその都度認知力の低下を感じ不安な思いがあり、本人の加齢も重なって在宅での同居に

限界を感じ始めた為、当施設のショートステイを利用開始。その後特養への申し込み、入所待ちの期間(老健くすの郷様を利用)を経て、やすらぎの郷の特養に入所したのが約7年前。入所後もコロナ渦や再度の骨折等を経て認知症は進行、まだまだお元気ではありますが現在はベッド上の生活を余儀なくされています。

今後について

今年の10月で93歳となるシゲ子さん。今後必ず避けられない事が別れです。どの様に最期を迎える事が良いですかとお尋ねすると、穏やかに、痛みなく、自然にその時を迎える事が一番いいな…とは娘さん。まだ先の事にはなりますが当施設での看取りを希望されるそうです。

しかし、これといって重大な持病もなく食欲もまだまだ旺盛なシゲ子さん。面会時に差し入れしてもらった好物のバナナも一本ぺろりと食べてしまいます。反対に息子さん(娘さんも)は持病があり「俺の方が先に死ぬんじゃないか」と



冗談交じりに話されていました。昔から大病には縁がないのでこのまま元気に過ごして最終的には100歳まで生きてほしいという希望をお聞きし、今の様子を見ていたら全然大丈夫なんじゃないかと和やかに笑い話でインタビューを締めさせていただきました。



インタビューを終えて

今回、快くインタビューに応じて下さった長男の利信様、長女の里江様、ありがとうございました。私自身やすらぎの郷に入社して15年ほど経ちますが、新人の頃からシゲ子さんとは何かと関わる事が多く、ちょっと口は悪いけど(笑)、世話好きでおしゃべり好きなシゲ子さんとは楽しい思い出がたくさんあります。「そんな話すことはないよ」とおっしゃっていましたが、若い頃の話も楽しく拝聴させていただきました。一番印象に残ったのは漫画でしか見た事がないようなエピソード「茶碗が飛び交う夫婦喧嘩」でしょうか(息子さんはトラウマだとおっしゃっていましたが)・・・すいません。

今後もシゲ子さん、及び利信様、里江様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

(東棟介護職員 中村 晃司)

Sports
day!!

西棟運動会

コロナ感染対策としてしばらく開催できなかった運動会を、6月14日、久しぶり西棟内のみで実施しました。紅白のはまき姿の皆さんは、初めのラジオ体操から一生懸命に体を動かし、玉入れや玉回しなど、普段なかなかお目にかかれない真剣な表情や、嬉しそうな笑顔がたくさんみられ、ほんわかにぎやかな運動会となりました。今後も、感染症の状況を考慮しながら色々なイベントを開催したいと思っています。

(西棟介護職員 野中将司)



デイサービス



Day
Service

FLOWER FLOWER FLOWER in デイサービス

やすらぎの郷に咲いているお花や、送迎中に見つけたお花をみると、「わーきれいね」と言われる方が多くいらっしゃいます。デイサービスではきれいな花が咲くたびに記念撮影を行い室内に掲示しています。

菜の花

近くの田んぼに菜の花が咲いていました。肌寒い日ではありましたが、一面黄色の菜の花に癒されました。



桜など

春になると、やすらぎの郷の敷地内に様々な花たちが咲き始めます。また桜の季節になるとグループに分かれてドライブにレッツゴー！須恵町や志免町の桜スポットに行ってきました。



季節折々のお花たちと写真を撮り思い出をいっぱい残していきましょう！！

ご利用者の皆さまが楽しめる活動を職員一同考えて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

(デイサービス介護職員 脇坂 夏生)



草刈りボランティア

やすらぎの郷はご存じのように、緑の木々に囲まれた施設ですが、広大な土地の草刈りが大変な業務となっています。昨年に続き、今年も4月29日(祭日)と6月16日(日)に、天理教福岡教区の福岡東支部の皆さんに草刈りをしていただきました。(4月29日はあいにくの大雨だったので、施設の窓掃除や管理棟内の清掃をしていただきました)

福岡東支部の皆様、暑い中本当にありがとうございました。<(_)>



Volunteer



昨年に引き続き、志免町赤十字介護奉仕団「ふきのとう」の奉仕団の方々と一緒に実施することができました。昨年度からボランティア活動の受け入れも再開した中で、今回のボランティアDAYは奉仕団の方々と職員との交流の機会となりました。清掃活動は、やすらぎの郷周辺のゴミ拾い、草取りを中心に行い、約30分間で合計10袋のゴミが集まりました。皆さまご協力ありがとうございました！



第12回やすらぎの郷秋祭りについて



令和6年10月30日(水)の午後に、第12回やすらぎの郷秋祭りを開催いたします。

新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行していますが、地域の感染状況を鑑み、残念ながら今年度もご家族および地域の方の参加は見合わせ、施設内のみでの開催とさせていただきます。秋祭りの様子については、後日施設ホームページに掲載する予定としておりますので、そちらを閲覧していただきますようお願い申し上げます。

※写真は昨年の秋祭りの様子



日本赤十字社福岡県支部
特別養護老人ホーム

やすらぎの郷

〒811-2208 福岡県粕屋郡志免町大字吉原600番 TEL.092-936-2022 FAX.092-936-2135
ホームページ <http://yasuraginosato.org/cgi-bin/index.cgi>

令和6年8月発行